



第1号様式（第6条）関係

伊勢原市協働事業提案書

平成 29 年 5 月 31 日

伊勢原市長 様

住 所 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
団体名 第7期いせはら観光ガイド養成
講座実行委員会
代表者氏名 実行委員長 三上利栄

伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第6条の規定により、次の通り提案します。

提案区分	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
協働事業名	第7期いせはら観光ガイド養成事業
添付資料	(1) ○団体概要（第2号様式） (2) ○協働事業実施計画（第3号様式） (3) ○協働事業収支予算書(第4号様式) (4) 規則、定款、規約 ○会則その他これに準ずるもの 写し (5) ○会員、構成員の名簿写し (6) ○前年度の活動報告書及び収支決算書の写し

第2号様式（第6条）関係

団 体 概 要

平成 29 年 5 月 31 日

団 体 名	第7期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会	
所 在 地	[REDACTED] [REDACTED]	
代 表 者	実行委員長 三上利栄	
設立年月日	平成 23 年 7 月	
会員状況	会員 27 人（うちいせはら市民 26 人）	
業務内容	① 大山が神奈川の観光の第4の核となり、また、大山詣りが日本遺産となったことから伊勢原の観光が俄然脚光を浴びてきている。この点でガイドで応えることは重要。 ② 市主催の太田道灌祭りが50回を数える今年、また太田道灌をNHK大河ドラマへの展望も市民ぐるみの取り組みで高まっている。 ③ この条件の中、案内ガイド必要性は増えてくる、特に大山に来る外人観光客は国の数も人数も増加の一途である。この点で外国語＝英語ガイドは重要である。 ④ このために外国語講座と一般観光ガイド&サポート講座の2つを開設して要望にこたえたい。計画は別紙内容による。	
主な公益活動の実績	① 大山インフォメーションセンターで外人案内のサポートをしています。昨年度は年43回、43日、53人が活動しました。 ② 市主催の大山サミットに参加、ヒガンバナコース案内、伊勢原観光道灌祭り、太田道灌の集いなど参加しています。	
連絡担当者	氏名	三上利栄
	所属	第7期いせはら観光ガイド講座実行委員会
	電話	電話 [REDACTED] 携帯 [REDACTED]
	FAX	[REDACTED]
	e-メール	なし

協働事業実施計画書

平成29年5月31日

協働事業名	第7期いせはら観光ガイド養成講座
事業の目的	伊勢原の恵まれた自然、歴史、史蹟、文化を伝承、顕彰、案内し、伊勢原の観光振興に寄与し観光伽買うを増やすために観光ガイドの増員、レベルを向上させるために講座を開設します。「観光ガイド外国語講座と一般観光ガイド&サポート講座」の2つを実施します。目標は外国語講座15人、一般観光ガイド&サポート講座20人を養成し修了させるよう取り組みます。
事業内容	① 講座計画書は別紙の通りに予定します。 ② 一般観光ガイド講座は大山地区、日向地区、三の宮地区、太田道灌コース、の4つのコースを重点として行います。 ③ 外国語は、英会話の内容講座（自己紹介、案内挨拶、大山インフォメーションセンターの案内受け入れをできる水準をめざす。）を中心に行います。3年目以降の受講生は専攻過程として実地講座を含めて実施し向上をめざします。
スケジュール	平成29年7月5日より平成30年3月15日までの期間
協働の効果	市民協働事業に対する市民は、事業に対して信頼と安心感を置いています。低廉な講座料で、経験豊かな講師陣を確保でき、地元観光ガイドの地元に着した講座は市民の期待にこたえられるものです。大山バス停終点の大山インフォメーションセンターなどで実習も計画し、創意と工夫をした講座とします。
役割分担	（市民協働団体の役割） ① 「2つの講座」の計画と執行・運営に責任を持って宣伝、組織、財政、講師配置などに当たり成功に貢献します。とくに、新受講生の応募に最大の力を発揮します。 ② このために、広報、新聞、タウンニュースなど活用して努力します。 ③ 推進ニュースの発行をして受講生に周知と交流に努めます。 （市の役割） ① 講座の受講料の応分の助成を行う。 ② 市広報への講座の内容の掲載。 ③ 講座会場の確保。 ④ 講師陣の相談と推薦。

外国語講座 平成 29 年度いせはら観光ガイド計画 (案)

観光ガイドの必要な「話す・聞く・慣れる英会話」講座

29 年 5 月 31 日

NO	実施日場所	講座内容	講師名	ポイント	担当者
1 補講	7 月 22 日 (土) 11 時サミット、13 時大ホール	第 18 回道灌の集い見学	見学参加	道灌・運営など学ぶ	三上、山本喜大矢
2 補講	8 月 26 日 (土) 13 時半より中公第一学習	市の広報戦略	市広報課	市の宣伝戦略学ぶ	三上、山本喜、大矢
3	9 月 2 日 (土) 13 時半より、シテイプラザ	開講式・実践報告 産能大斎藤先生	斎藤先生	式典、講演、観ボラ史、	合同入講式
4	9 月 16 日 (土) 13 時半、シテイプラザ 1F 会議室	① 英会話・自己紹介	講師 梶田紀子	自己紹介	山本喜、渡部
5	10 月 7 日 (土) 13 時半	② 英会話・案内業務 大山インフォメーション	講師梶田紀子 KSGG	ガイドの概略挨拶	山本喜、渡部
6 補講	10 月 14 日	道灌祭り	見学参加	見学と証明	三上
7	10 月 21 日 (土) 10 時より	小田原城実践案内	講師石井久恵講師	城のポイント学ぶ	山本喜、西部
8 実習	11 月 18 日 (土) 10 時より 11 月 19 日 (日) 10 時より 11 月 25 日 (土) 10 時より 11 月 26 日 (日) 10 時より	大山インフォメーション 2 交代で 2 人づつ 10 時より 12 時迄 13 時から 15 時迄	計画で参加	実践	専攻科必須科目山本喜、西部
9	12 月 2 日 (土) 13 時半	③ 英会話・市内の団体との交流を図る	梶田紀子講師	外国語団体の報告	山本喜、西部
10 9	12 月 17 日 (日) 13 時半	④ 英会話・駅前で外人接待の方法	石井久恵講師	駅前で出迎え講座	西部、渡部
11	1 月 13 日 (土) 13 時半	⑤ 英会話・三ノ宮コースと吉川醸造見学	石井久恵講師	ウォーク工場見学	山本喜、西部
12	1 月 27 日 (土) 13 時半	⑥ 英会話・KSGG の活動を知る	梶田紀子講師	KSGG 聞く男女に	渡部、西部
13 補講	1 月 28 日 (土) 13 時半	「知は生きる力」	逢坂先生		三上、
14	2 月 10 日 (土) 13 時半より	修了式・記念講演 講師東海大観光学部	石井久恵講師		山本喜、西部

*2 年目はグループ化を図る、・3 年目は専攻科とし、グループで推進する。*2 年目は「証」を交付する。

*自己紹介でき、案内の概要できるように現地での実践講座を行う。*大山インフォメーションは 2 人 2 交代で実地実習をおこなう。

一般観光ガイド&サポート初級講座 平成 29 年度第 7 回いせはら観光ガイド養成講座

伊勢原の新観光 4 大スポットを学ぶ計画 (案)

平成 29 年 5 月 31 日

回数	講座名・会場	講座時期	見どころ聞きどころ	講師名	案内役
1. 補講	オープン講座・大ホール	7 月 22 日 (土) 13 時、サミット 11 時	第 18 回道灌の集い雰囲気と運営を学ぶ	18 回道灌の集い、大ホール	山本喜 受付 三上
2. 補講	オープン講座 中公第一学習	8 月 26 日 (土) 13 時半より	伊勢原市を知る市の 広報戦略	広報公聴課、中 公第一学習室	山本喜、三上 市大講座
3.	開講式 シテイプラザ 1 階会議室	9 月 2 日 (土) 1 3 時半より 4 時迄	・入講式・記念講演 ・「大山再び輝く」 ・観ボラ史に学ぶ	産能大斎藤先 生 観ボラ	担当 三上、及川
4.	日向薬師・彼岸 花コース・現地	9 月 30 (土) 9 時 伊勢原北口交番前	・彼岸花コース・頼朝 コース・日向薬師	ウオーク・講座 鳥海講師	担当 鳥海、西部
5.	太田道灌コー ス・中公会議室 B	10 月 14 日 (土) 9 時より 12 時迄 第 50 回道灌祭り	・太田道灌講座。尾崎 ・道灌祭り参加・三上 ・伊勢原の活動・三上	太田資曉氏 尾崎孝氏	道灌祭り参加、 講座担当三上 と渡部
6.	歴史講座 中公 3 階会 B	10 月 22 日 (日) 13 時半より	・伊勢原の歴史と文化 財	市役所文化財 課	担当加藤夏、松 本
7.	三の宮コース 現地集合	11 月 4 日 (土) 9 時北口交番前	・比々多博物館見学、 ・3 大古墳コースウオ ーク・善波太郎コース	見学、永井宮司 今井滋講師、善 波太郎協議会	担当 今井、清水光
8.	大山コース 大山かげゆ旅 館・絵巻見る	11 月 25 日 (土) 9 時交番前	・大山の歴史講座 ・大山紅葉ウオーク ・大山寺・下社	川島先生	担当川中、葛本
9.	大山門前コー ス・中村屋 2 階	12 月 9 日 (土) 9 時駅交番前	・大山観光講座 ・昼食は中村屋	宮崎講師座学 とウオーク	担当 宮腰、大矢
10	本町コースシ テイプラザ 1 F	1 月 13 日 (土) 10 時集合駅交番前	・本町ウオーク講座	田中米昭講師	担当 三上、若林
11.	理論講座。シテ イプラザ 1 F 会議室	1 月 28 日 (土) 13 時半より	・「知は生きる力」を 学ぶ	逢坂講師	担当 三上 大矢
12.	修了式・記念講 演	2 月 10 日 (土) 13 時半より	・記念式典・講演 ・観ボラと新観光ガイ ドマップ	講演東海大観 光学部教授	担当山口、鳥海

*講座 12 回、10 回が本番、2 回補講。(補講も計算に入れる) 修了には 7 回の出席で。

*

第3号様式（第6条）関係

協働事業予算書

平成29年5月31日

協働事業名	第7期いせはら観光ガイド養成講座
団体名	第7期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会

収入の部

区 分	予算額（円）	摘 要
受講料	105,000 円	3 千円×35 人、単科生 20 人分見込む
活動援助金	60,000 円	観ボラ 5 万円、寄付金 1 万円
市の援助金	160,000 円	市の援助金
雑収入	10,000 円	資料代、本代等
合計額	335,000 円	

支出の部

区 分	予算額（円）	摘 要
講師料費	150,000 円	外国語講座用 8 万円、一般観光用 7 万円。
会場費	10,000 円	会場費。
交通費	25,000 円	交通費、車代など。
通信費	25,000 円	切手代、はがき代、郵送費代。
消耗品費	100,000 円	パソコンインク代、紙代、FAX 代など。
その他の事務費	25,000 円	資料代、参考書代、賞状代など。
合計額	335,000 円	

第 7 期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会運営要綱、
平成 29 年 5 月 31 日

名 称 第 7 期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会と称します。
基 本 伊勢原市市民協働事業として実施します。自然と歴史、史跡と文化の香る伊勢原の観光振興のために観光案内人材を要請する講座です
その内容は、「観光一般ガイド&サポート養成講座」と「外国語～英語講座」を実施します。主宰はいせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会、講座運営・実行は第 7 期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会担当します。

2つの講座の内容 ①「観光一般ガイド&サポート講座」は伊勢原市内ある主な見どころを道案内できる水準をめざします。理論と実践をわせて 10 講座とし、出席時間が不足した人には補習講座も親切にサービスします。「ガイドとともに楽しくウオークやハイキングができるようにガイドと参加者をサポートする講座」とします。②「英語による外国語講座」は 12 講座とし、経験者が水準にあった方法で丁寧に講座します。補講も計画し修了を援助します。

③講座計画は別紙のようになります。

修了証の交付 講座の 70%出席者には修了証を 1 年ごとに実行委員会より、2 年以上の受講修了者には観ボラより「認定証」。3 年以上の受講生は専攻課程修了として証を交付します。

講座実施期間 平成 29 年 7 月 5 日より来年 3 月 15 日までの期間内で実施します。内容は別紙のようになります。

講 師 観光に造詣の深い大学教授、通訳、市職員、郷土史家、経験者等多彩に適宜に配置して講座を推進します。

受 講 料 「1 講座」3 千円とします。1 日だけの出席受講料は 1 回 300 円とします。但し単科生を 5 回以上受講した時には相談のうえ受講生に切り替えるサービスを実施。

体 制 実行委員長 三上利栄 他は役員名簿の通りです。

問い合わせ・連絡先 第 7 期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会
いせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会 三上利栄。

平成29年度

役員名簿

平成29年5月24日

NO	役職名	現・新	事務局	氏名	職務
1	会長	現	事務局員 現	三上 利栄	事務局長兼務
2	副会長	現	々 々	山口 靖之	会長代行
3	々	現	々 々	及川 勢子	
4	々	現	々 々	大矢千津子	
5	々	現	々 々	宮腰 義明	
6	々	現	々 々	今井 滋	
7	々	現	々 々	加藤 夏夫	
8	々	現	々 現	鳥海 増雄	事務局長代行
9	々	現	々 現	森内 文之	
10	々	新	々 現	川中 彰	
11	々	新	々 現	葛本 明	
12	事務局次長	新	新 新	上野 幸男	
13	幹事	新	新 元	渡部 桂子	
14	々	現	現 現	松本 悦子	
15	々	現	現 々	清水 光子	
16	々	現	現 々	山本喜美子	
17	々	現	現 々	西部 周子	
18	々	現	現 々	鈴木 輝夫	
19	々	現	現 々	若林ミヤ子	
20	々	現		加藤 利子	
21	々	現		喜多 実	
22	々	現		吉川 福司	
23	々	現		岡田 陽子	
24	々	現		山本 陽	
25	々	現		小川千鶴子	
26	々	新		那須 憲三	
27	々	新		菅原 信夫	
	会計監査	現		高 裕子	
	々	現		高野喜代子	
	特別幹事	現		荻野 康雄	前2代目会長
	々	新		篠原 啓介	々3代目会長
	々	新		宮崎 武雄	々4代目会長
	顧問	現		端山 清	市役所専門員
	顧問	現		石井 四郎	前1代目会長

「第7期いせはら観光ガイド養成講座」実施に関する協働事業協定書

伊勢原市（以下「市」といいます。）と第7期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会（以下「実行委員会」といいます。）は、「第7期いせはら観光ガイド養成講座」（以下「事業」といいます。）の実施に関し、次のとおり協働事業の協定を締結します。

1 事業の目的

伊勢原市や市内各地域の観光振興に協力するため、観光ガイドを養成します。

ガイドを養成するにあたり、伊勢原に豊富に存在する自然・史跡・文化財・観光地を実地講座や座学をとおして学びます。

2 協定の目的

本協定は、事業の実施にあたり、市と実行委員会との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

3 協働に関する原則

市と実行委員会とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等かつ協力的な関係を保つよう心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係をつくります。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報の保護に考慮しながら、協働の過程や結果等の情報を公開し、市民の理解を得るように努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。
- (6) 一定の時期に事業の効果を検証・評価し、改善を行うとともに、事業の継続の可否についても検討します。

4 役割と責務

(1) 市の役割と責務

ア 情報提供

市は、実行委員会に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 事業開催のための会場の確保に協力します。
- ii 市広報や市ホームページにより、事業の周知を行います。
- iii 講師料及びその他事業の実施に必要な費用の一部について負担します。
- iv 本事業開催にあたって、助言やアドバイスをを行います。

ウ 経費の負担

市は、別紙に定める経費を予算の範囲内で負担します。

エ 報告書に関すること。

市は、実行委員会が作成した報告書等の内容を真摯に検討し、市政に活かすよう努めます。

(2) 実行委員会の役割と責務

ア 情報提供

実行委員会は、市に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 事業の目的を達成するため、事業を総括します。
- ii 事業の企画・運営を行います。
- iii 事業の広報・宣伝を行います。
- iv 事業へ参加する受講生の募集等、連絡・調整を行います。
- v その他、事業開催に関わる全てを行います。

ウ 経費の負担

実行委員会は、別紙に定める市負担金相当額を差し引いた経費を、受講料等で賄います。

エ 情報公開

実行委員会は、事業実施の経過・内容・成果などについて、より多くの市民の目に触れるように広く一般に情報公開や情報提供をします。

オ 個人情報の保護

実行委員会は、事業を実施する上で知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、市の個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。

5 相互の連絡調整

市と実行委員会は、相互の連絡調整を円滑に行うため、適宜、連絡調整会議等を開催して協議します。

6 協定の有効期限

本協定の有効期限は、平成30年3月31日までとします。

7 報告書の提出

実行委員会は、事業終了後60日以内に市に対し事業完了報告書を提出するものとする。

8 事業の評価等

市と実行委員会は、事業の実施後に事業の評価を行います。

9 その他

本協定に定めのない事項で、事業を実施する上で必要と認められるものについては、市と実行委員会が協議して定めるものとします。

平成29年6月28日

(市)

伊勢原市田中348番地

伊勢原市長 高山 松太郎



(市民活動団体)

[Redacted]

第6期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会

実行委員長 三上 利栄

